

**平成25年度（通期）  
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課：教育委員会事務局 生涯学習 部 図書館

**1. 基本情報**

1502

<b>施設名</b>	<b>伊丹市立図書館北分館</b>		
<b>施設の設置目的</b>	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する。		
<b>伊丹市総合計画（第5次）における関連施策</b>	政策目標：未来を担う人が育つまち 施策目標：ライフステージごとに学び活躍する人づくり 主要施策：生涯にわたる主体的な学習の支援		
<b>指定管理者の名称</b>	<b>特定非営利活動法人 まちづくりステーションきらめき</b> (団体の住所又は所在地) 伊丹市千僧5丁目9番地1 10-205		
<b>選定方法（公募・非公募）及び指定期間</b>	非公募	平成 25 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日	
<b>管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的な目標)</b>	指標名	利用者数・貸出冊数 (単位：人・冊)	
	指標の意味	年間の利用者数・延べ貸出冊数	
	今年度の目標値	156,000人 322,000冊	上期の実績値 148,513人 289,063冊

**2. 利用状況**

利用状況等の推移								
	H17	H21	H22	H23	H24	H25 (上期)	H25 (通期)	
来館者数(人)	140,159	151,727	164,477	154,933	155,127	77,831	148,513	
講座開催回数(回)	65	212	204	180	168	87	165	
講座参加者数(人)	686	2,354	3,121	3,613	3,237	1,747	2,756	
貸出冊数	251,684	286,712	315,724	301,016	303,912	152,094	289,063	

H17年度は、指定管理者制度未導入。

**3. 管理経費等**

平成25年度 指定管理者の 収支状況  <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	23,742	指定管理委託料	23,742
	事業収入（講座料収入等）	0	事業収入（講座料収入等）	0
	その他	21	その他	25
	合計	23,763	合計	23,767
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	22,000	人件費	22,243
	維持管理経費	81	維持管理経費	81
	事業等経費	1,682	事業等経費	1,673
	その他	0	その他	0
	合計	23,763	合計	23,997
	<収支差>		<収支差>	
	収入合計 - 支出合計	0	収入合計 - 支出合計	-230

施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担)  <単位:千円>						
	H21	H22	H23	H24	H25	H26
市の収入	0	0	0	0	0	-
(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	-
市の支出	30,970	30,970	30,970	30,970	31,242	-
(内、指定管理委託料)	23,470	23,470	23,470	23,470	23,742	-
実質経費（歳出 - 歳入）	30,970	30,970	30,970	30,970	31,242	-

施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

#### 4. 業務評価

評価項目	( 具体的内容 )	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	A	いずれの項目も「協定書」及び「仕様書」の規定事項を遵守し、伊丹市の方針に従い、適切に対処している。	A	協定書・仕様書に基づき、適切な維持管理業務を行っている。また、環境に配慮した施設運営にも良く取り組んでいる。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	A		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A		A	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	職員の資質向上のため必要な職場内研修の実施や外部研修への積極的参加を促すとともに必要な職員配置を行い、利用者へのサービス向上を図っている。	B	積極的な外部研修の参加を促し、職員のレファレンス能力の向上に努めている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		A	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	A	消防法に定められた避難訓練を行うとともに、緊急時対応マニュアルを作成し、危機管理意識の向上に努めている。	B	防犯・防災の対策を適切に講じている。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	図書館の業務はサービス業であることを認識し、常に利用者サービスの向上に努めている。	A	サービス業にふさわしい接遇に心がけ、利用者サービスの向上に努めている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A		A	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	事業計画どおり、実施しており、読み聞かせ等の読書啓発事業を効果的に実施するために、2階の児童館機能との連携を図っている。	B	児童館との連携を活かして、効果的な事業展開を図っている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		A	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報保護条例等の規定に基づき個人情報の遵守に努めるとともに、ホームページや広報誌等による情報の提供を積極的に行っている。	B	個人情報の取扱いが多い職場であることを認識し、適切に情報管理を行っている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B		B	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	毎月、経理処理のチェックを行い適正経理に努めている。	B	3重チェックを行い、適切に経理処理を行っている。
経理処理は、適切に行っているか。		A	A			

「評価」欄の記号の意味

「A」= 協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」= 協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」= 協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」= 当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	館の運営に関しては、おおむね協定書・仕様書等の水準を満たしており、アンケート調査においても前年度より良い評価を受けている。また、行事や講座事業では、児童館と連携した取り組みを実施し、子どもの読書活動の推進に貢献しており、図書館運営における役割を十分に果たしている。
総合評価	B

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」= 管理運営が非常に優れていると認められる。

「A」= 管理運営が優れていると認められる。

「B」= 管理運営が適正であると認められる。

「C」= 管理運営が改善を要する水準である。

#### 利用者満足度調査(アンケート)結果と対応 [実施期間] 平成26年3月1日 ~ 平成26年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	・本の貸出・予約について 「たいへん満足」39%、「やや満足」52%	利用者ニーズの把握に努め、より一層満足度の向上を図っていく。
回答者数	・職員の接遇について 「たいへん良い」20%、「良い」45%	多くの方に「良い」、「満足」と感じていただけるよう、常日頃から接遇意識の向上に努める。
174	・講座やおはなし会など行事について 「たいへん満足」28%、「やや満足」65%	事業内容の創意工夫、児童館との連携強化など、講座内容の更なる充実を図る。

#### 5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
特になし	